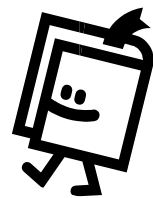


# 図書館 News



2016年3月22日 矢上高校図書館

## No. 10



季節が巡り、また新しい春が顔を覗かせつつある今日この頃です。この1年も図書館をありがとうございました。また4月、新しい学年を迎え様々な想いを抱いて登校してくるみなさんを図書館で待っています。

## 3学期おはなし会

3月16日の放課後におはなし会を開催しました。地域ボランティア「ちいさなろうそくの会」の石橋さんにきていただき「ボルカの冒険」を語っていただきました。

ろうそくに灯がともったらストーリーテリングのはじまりです。

感想1

ボルカの勇氣ある行動に感動しました。

感想2

なかなかない機会でした。面白い話でした。

感想3

ボルカの冒険のおはなしを聞いて、王子を助けるために願いごとを言ったのはとてもすごいなと思いました。

感想4

人がよろこぶことをする。これが大切。

ストーリーテリングが終わり、ろうそくを吹き消すときにささやかな願いごとをすると、願いが叶うと言われています。

矢高図書館にあるシリーズの続巻が入りました！！

【悪ノ大罪シリーズ (悪ノP著)】

『五番目のピエロ』  
『円尾坂の仕立屋』

【御用人シリーズ (浅葉なつ著)】

『神様の御用人5』

【忘却探偵シリーズ(西尾維新著)】

『掟上今日子の挑戦状』  
『掟上今日子の遺言書』  
『掟上今日子の退職願』

【オーダーは探偵にシリーズ(近江泉美著)】

『砂糖とミルクとスプーン一杯の謎解きを』  
『グラスにたゆたう琥珀色の謎解き』  
『謎解き満ちるティーパーティー』  
『季節限定、秘密ほのめくビターな謎解き』  
『謎解きは舶来のスイーツと』



# 《新着図書紹介》

★マークのついているものは寄贈していただいた本です

## 【 0. 総記 】

### ★世界が変わるプログラム入門

山本貴光 // 著 (ちくまプリマー新書)

コンピュータプログラムを自分で設計し作る！入門書。

まずは、自分の頭と紙と鉛筆で疑似体験！！

## 現代用語の基礎知識2016

自由国民社 // 編 (自由国民社)

## 【 3. 社会 】

### 文藝春秋オピニオン

2016年の論点100 (文藝春秋)

### ★最新版アメリカの高校生が学ぶ経済学 原理から実践へ

ゲーリーE. クレイトン // 著

花岡幸子, 他 // 訳  
(WAVE出版)

「やりたいことがわか  
らない』のは健全である」

### ★大学選びより100倍大切なこと

筒井美紀 // 著 (ジャパンマシニスト社)

## 【 4. 自然 】

理科年表 平成28年 国立天文台 // 編纂 (丸善)

## 【 5. 技術 】

### ★めがねを買いに 藤裕美 // 著 (WAVE出版)

めがねの新発見がきつとある！！

### ☆あなたはネットワークを理解していますか？

インターネット時代に欠かせない

根っこの知識が確実に身につく！

梅津信幸 // 著 (サイエンス・アイ新書)

## 【 6. 産業 】

### ★BOTTLIUM ボトリウム

手のひらサイズの小さな水槽。

田畑哲生 // 著 (成山堂書店)

### ★しろさびとまっちゃん

福島の保護猫と松村さんの、

いいやんべえな日々

太田康介 // 著 (KADOKAWA)

白猫のしろと、さび柄猫のさび。原発事故で人々が避難した中、そこにとどまり取り残された犬猫に餌をやって回っていた松村さん。2匹もそんな松村さんに引き取られました。2匹と松村さん、そして犬、牛、ダチョウ…の福島での日々。

## 【 7. 芸術・体育 】

### ★透かして見ると現れる思わぬかたち

かさねて楽しむ万華鏡切り紙

佐藤蒨野 // 著 (誠文堂新光社)

## 【 9. 文学 】

### ★日本文学のススメ

関根尚 // 著 (学研)

教科書にも出てくるあの人やこの人。

名作を遺した文豪はどんな人たちだったのか！！？

### ★平和をかんがえるこども俳句の写真絵本

(小学館) 現代の子どもたちの俳句と昭和の子ども

たちの写真がコラボレーションした一冊！

### ★ピンクとグレー

加藤シゲアキ // 著 (角川文庫)

映画化となり、今話題の一冊！

『Burn.』もあります！！

### ★四月は少しつめたくて 谷川直子 // 著

(河出書房新社) 詩が書けなくなってしまった詩人・藤堂孝雄。人気女性誌から『月刊現代詩』の

編集者となり、藤堂の担当となった今泉桜子。

今泉は藤堂にどうにか詩を書いてもらおうと奮闘する

も……。「人からあるいは共通のあいまいな表現から借りてきた

言葉じゃなくて、自分で戦って見つけ、手に入れた言葉で書く

と、確実に何かが変わるんだな。」

### ★詩と死をむすぶもの

詩人と医師の往復書簡

谷川俊太郎, 徳永進 // 著 (朝日文庫)

鳥取県の「野の花診療所」でホスピスケアに携わる

医師・徳永進さん。徳永さんが野の花診療所での

日々を綴り、詩人・谷川俊太郎さんが想いを馳せた詩を送る。